

専修学校／専門学校年次報告書

愛仁会看護助産専門学校

2021年6月

1. 設置者

社会医療法人愛仁会

2. 教育上の基本組織

- (1) 名称 愛仁会看護助産専門学校
- (2) 所在地 大阪府高槻市古曾部町 1 - 3 - 33
- (3) 専修学校／専門学校名 愛仁会看護助産専門学校 助産学科

3. 教員組織

教員数 5名（教務主任 1名、専任教員 4名）

4. 収容定員及び在籍者数

収容定員 20名
在籍者数 20名

5. 入学者選抜

(1) アドミッション・ポリシー

助産学科では、あらゆる対象に必要な助産ケアについて、正常経過からハイリスク事例までを愛と思いやりをもって提供できる実践者として、社会に貢献できる助産師の育成を目指している。1年間という短い期間で専門性を身につけるためには、他者理解とともに自己理解を深め、対象となる方々から学ばせていただく真摯な姿勢を持ち、生涯にわたって学習が継続できる次のような学生を求めている。

- ① 助産教育の修学に必要な基礎学力としての知識や技術に関する能力を有している。特に母性看護学、小児看護学の基礎となる内容を理解し、看護学校卒業程度の知識とともに看護展開および実践の能力を有し、卒業時の到達目標に達している。
- ② 論理的思考力とともに看護に必要な情報をあらゆる視点から収集し、エビデンスをもとに統合する能力を有している。
- ③ チーム医療を実践するための協調性とともに自身の意見を表現、伝達できる能力を有している。
- ④ あらゆる対象者を尊重し、社会に貢献できるための使命感と誠実性を持って学業に専念できる。
- ⑤ 対象者への深い関心を持ち、看護・助産の発展のために主体的に学び、自己を内省できる能力を有している。

(2) 2021年度入学者選抜方法（筆記試験、面接など）

- ① 筆記試験：母性看護学・小児看護学（選択式）
- ② 技術試験：基礎看護技術（2017年度から開始）
- ③ 論文：小論文（論旨の明確さ、表現力、文章技術を評価）
- ④ 面接：態度、表現力、協調性、誠実性、積極性、貢献度を評価

6. 標準卒業年限

1年

7. 教育課程及び教育方法

(1)教育目的

「看護専門職としての知識と技術を教授し、高い倫理観と使命感を持ち広く社会に貢献できる看護師、助産師を養成する」という学則第1条に基づき、助産学科の目的を以下の通りとしている。

社会医療法人愛仁会の高度周産期医療に携わる助産師の育成を目的とする。助産師独自の役割である周産期における正常経過からハイリスクまでのあらゆる対象者に自律してケアを提供できる実践者を目指し、助産学の基礎的能力とともに、どのような困難な状況であってもあらゆるニーズに応え、安全な出産を保障できる実践力を育成する。また、これらの能力の基盤として、生命誕生・家族の創生にかかわる専門職としての使命感と責任感、女性や子ども、家族の権利を擁護できる倫理観を身につけ、女性の持てる力を引き出し、女性と共にある助産師の原点を追究できる専門職業人を育成する。

(2)教育課程

教育内容は、指定規則をもとに基礎助産学8科目8単位、助産診断・技術学10科目10単位とし、実習は8科目11単位と指定規則と同じ配置としている。カリキュラム編成は、学生が段階的・系統的に学べるよう、前期には妊娠・分娩・産褥・新生児各期の正常経過の理解を深め、後期でハイリスク事例を対象とした実習へと構成している。さらに女性への支援や地域における支援、助産管理へと幅を広げ、年間50週のうち、6週間の休暇期間を設定し、無理のない授業時間の設定をしている。

(3)教育方法

実践能力を高めることを目指し、講義・演習においてはグループディスカッションや事例展開学習、技術の演習や教員作のDVDを用いた反復学習を行なっている。2020年度はオンラインを活用し、感染対策を重視したうえで、反復学習を行えるようにした。各期に共通した事例を作成し、妊娠期から産褥期までの継続的な視点で助産過程の展開を学習できるようにした。また、実習前後と卒業前に各期においてOSCEを取り入れた評価を行ない、判断力の強化と助産技術レベルの確保をしている。演習指導は、臨地の指導者の協力を得て少人数制の体制を整え、到達が十分でない学生への指導は1対1で行なっている。また2020年度には分散登校を取り入れ、実習室に10名以下となる環境をつくったことで、より少人数制の教育体制をとり、個別性の高い指導へとつながっている。

2020年度の実習では、病院では1か所が5名以内となるように実習場所の配置を行い、学内実習を取り入れた。学内実習では臨地に近い形でのシミュレーション事例を設定し、技術力・診断力の強化の指導を行った。

地域実習で障がいを持つ子どもの子育て支援について学ぶ実習は、実習病院のNICUを経て系列病院の小児病棟に入院している事例を選定し、出生後からの継続的な親への支援を学ぶ内容を計画していた。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、実習内容の変更を行い、臨地の方からの講演やオンラインを活用した思春期教育を取り入れるなどで学びの強化ができるようにした。

8. 成績評価及び課程の修了

(1) 成績評価

成績評価の基準と試験の実施方法は、学生便覧とシラバス、実習要項に記載している。レポートなどの評価基準については講師から学生へ明示し周知している。科目評価結果は学生に通知し、特に実習評価結果は次への課題を明確にするために結果の理由とともに説明している。

(2) 課程の修了

卒業単位は、当校学則別表2に基づいて総計32単位としている。単位修得は運営会を経て認定され、卒業要件である32単位修得の認定を受けた学生に対し、卒業判定会議を経て卒業を認定している。2020年度は卒業要件を満たした20名が卒業認定を受けた。

9. 学費及び奨学金等の学生支援制度

(1) 学費

年間128万円

内訳：入学金 20万円、授業料 36万円、施設費・教材教具費26万円、実習費等30万円、教科書代10万円、その他5万円（シューズ等雑費含まず）

(2) 奨学金

社会医療法人愛仁会奨学金	48万円／年（無利子）
	募集人数：人数制限なし 受給者：14人
日本学生支援機構奨学金	64万円（無利子）：1人
	114万円（併用）：1人
	160万円（併用）：1人
	募集人数：人数制限なし 受給者計：3人

(3) 給付金

専門実践教育訓練給付金制度 利用者：6人

10. 卒業生の進路及び活動状況

2020年度卒業生 計20名

(1) 助産師

病院 20名 診療所 0名 助産所 0名 その他 0名

(2) 助産師以外

0名